

# 甲状腺腫瘍の手術を受けられる方へ

お名前 @PATIENTNAME 様

<患者用クリニカルパス>

年 月 日  
本人・家族

月日	入院日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)
経過	達成目標	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)
達成目標	手術に同意している 手術の準備が完了している 手術に対する不安が表出できる	安全に手術を受けることができる 手術に対する不安が最小限になる	疼痛が軽減できる 異常(出血、息苦しさ、手のしびれなど)が早期発見され対処される
治療・薬剤 (点滴・内服) 処置・検査 リハビリ	いつも飲んでいる薬のある方は、その薬を 教えてください 引き続き飲むもの、やめてほしいものを医師に確認します  もし、眠れない・便秘している・気分が悪い などございましたら、いつでも相談して 下さい。 21:00に胃薬を内服していただきます。内服しない場合 あります。 	手術は : : からです。 手術が8:45着出棟以外の患者様は手術前に点滴をします ので、それまでに手術着に着替えて下さい。手術着は 看護師がお持ちします。パジャマのズボンはそのままで 結構です。必要時、弾性ストッキングをはきます。身に付 けている物で取り外せる物は全てはずして下さい。(義 歯・時計・指輪・ネックレスなど)手術室へは看護師と一緒 に歩いて行きます。内服は医師の指示に従ってください。  薬は飲めません。 (朝の薬を飲むようにいわれた方は飲みましょう)	集中治療室へ入室しない場合、手術が終わりましたら ベッドでお迎えに行きます。点滴をしていますが、翌朝ま で続きます。 手術後、点滴の横から化膿止めの注射をします。酸 素吸入をします。心電図モニターを付けます。(医師の 指示で終了します。) 手術後、痛みが強い場合は痛み止めの坐薬を使いま す。 創部に細い管が入っています。 創部に保護テープを貼ってきます。 
活動・安静度	制限はありません。		医師の指示があるまでベッド上安静です。
食事	普通食または糖尿病・高血圧などある方は治療食 となります。	本日は欠食となります。食事と水分を止める時間は医師 の指示に従ってください。	医師より水分許可があればお知らせします。
清潔	シャワー浴できます。爪が伸びている方はお切り下さ い。髭が長い方は剃って下さい。	点滴が始まるまでにシャワーをすませておきましょう。手術当日のシャワー時間は看護師よりお伝えし ます。(男性は髭を剃ってください)	
排泄		点滴が始まるまでにトイレをすませておきましょう。	おしっここの管が入っていなければ尿器でおしっこをとり
患者様・ご家族 への説明 栄養指導 服薬指導	外来の耳鼻科診察にて、医師より診察と手術について説 明があります。麻酔科の医師から診察と説明がありま す。麻酔科医師の指示のもと、絶飲食の時間が決まりま すので、お知らせします。手術に必要な物(前あきパジャ マ、バスタオル)をご用意下さい。必要時弾性ストッキング の準備を行います。集中治療室についてはパンフレットに 術後、集中治療室へ入室します。和式の寝間着1枚、フェ イスタオル2枚、バスタオル2枚、ティッシュ1箱、薬のみor コップ1個、歯ブラシセット、履物、箸などを準備して下さ い。(入院セット利用の方は準備不要です)その他、眼鏡 など日常生活に必要な物あれば準備して下さい。すべて に名前の記載をして下さい。	毎日、病棟または外来の耳鼻科診察にて耳鼻科診察が あります。(土日・祝日もあります)  順番にお呼びしますので、できる限りお部屋でお待ち下さい。 診察は入院された日から退院される日まで毎日あります。  家族の方は、手術室へお送りした後、集中治療室へご案 内します。準備物もお持ちください。	手術後、集中治療室に入室します(入室しない場合も あります)  

病名、入院期間などは現時点で考えられるものであり、治療・検査を進めるにしたがって変わることがあります。

市立四日市病院 耳鼻科

甲状腺腫瘍の手術を受けられる方へ No. 2

月日	／	／	／	／
経過	手術後1日目	手術後2・3日目	手術後4・5日目	手術後6・7日目
達成目標	痛みが軽減できる 異常(出血、呼吸苦、手のしびれ等)がなく、食事が摂取できる	痛みが軽減できる 出血がみられない 普通食が半分以上摂取できる	痛みが軽減できる 出血がみられない	出血がみられない 37.5℃以上の発熱がみられない 退院指導が理解できる
治療・薬剤 (点滴・内服) 処置・検査 リハビリ	術後1日目に集中治療室からベッドで病棟へ帰室します。 朝食が半分以上食べれて、朝の診察結果で医師の許可があれば点滴が抜けます。(食べられなかったら点滴は続きます) 朝化膿止めの点滴をします。 朝、採血があります。 採血の結果で カルシウム剤・ビタミン があります。 また、甲状腺ホルモンの薬を飲む場合があります。 内服する場合は、看護師から説明してからお渡しします。		診察の結果で、創の管が抜けます。 診察結果、創に貼ってあるテープがとれます。	退院の許可がでます。 退院の前日に、退院後の注意事項を説明します。
活動・安静度	朝6時頃に検温します。医師の指示で異常がなければ歩くことができます	制限ありません。		
食事	朝から、全粥軟菜の食事がつきます。	ご希望により食事のかたさをかえることができます。いつでもご相談下さい。		
清潔	シャワーはできません。体を拭くタオルを配りますので、体をお拭き下さい。	創の管が抜け、医師より許可があればシャワーが出来ます。創のテープは濡れても大丈夫です。		
患者様・ご家族への説明 栄養指導 服薬指導	診察後やシャワー・入浴後にテープがはがれたり、ぬれたりした場合はいつでもお知らせ下さい。 テープかぶれをおこす方もみえますので、かゆみを感じたら看護師に伝えるようにして下さい。テープの種類を変えます。 手術の影響で、指先や口のまわりがしびれる・飲み込みにくい・声がかすれることがあります。看護師にお知らせ下さい。 傷を守るためにも、頭を後ろにそらせたり、首をのばさないようにしましょう。			